

## 受賞者代表の功績概要

東京都社会福祉大会知事感謝状受賞者代表

木村 泉 社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会 立川福祉作業所 副所長

**【功績概要】**

平成5年の入職以来、約30年にわたり、知的障害者の支援に取り組んできました。

最初に配属された小茂根福祉園では、生活支援員として、重度困難ケースを担当し、専門家と共に生活支援員の介護力を向上させ、家族だけに頼っていた重度重複障害者の生活支援に取り組みました。また当時としては画期的な電車での移動、外出を成功させ、施設外でのリスクマネジメントマニュアルを確立しました。

その後、豊島区立福祉ホームさくらんぼへ異動し、特に重度知的障害者の地域での自立に取り組みました。グループホームの利用希望者には一人暮らしのコーディネートを積極的に進めるとともに、地域生活への移行に取り組みました。あわせて、豊島区自立支援協議会委員として地域支援の重要性を訴えました。

現在の職場である立川福祉作業所の副所長としては、8050問題の顕在化に着目し、課題の洗い出しに奔走した結果、地域におけるニーズを具体化し、行政を巻き込む形で支援の輪が広がりました。

長年にわたり知的障害者支援に取り組んできたその功績は多大なものです。

福祉のまちづくり功労者に対する知事感謝状受賞者代表

特定非営利活動法人町田ハンディキャブ友の会

**【功績概要】**

町田ハンディキャブ友の会は、1983年の会発足から、福祉輸送の実施やバリアフリーマップホームページの運営等を通じて、移動困難者を始めとする市民の外出機会の拡大に貢献しています。

福祉輸送は市民外出支援サービスとして、直近10年間で平均約3,500回/年、約42,500Km/年の車両運行を実施し、福祉輸送共同配車センターの運営では、直近5年間で平均約4,000回/年の運行車両のコーディネートを実施しています。

また、福祉輸送以外の取組にも活動の幅を広げ、車椅子利用者対応トイレの情報を中心にバリアフリーの施設情報を掲載したホームページ「町田市バリアフリーマップ」を市の補助事業として運営しており、ソフト面からも幅広くユニバーサルデザインやバリアフリーに資する取組を積極的に進めています。

今後も、これまでの取組の成果を踏まえた創意工夫により、更に取組を多角化させるなど、ハード・ソフトの両面からの多様な活動が期待されます。